

さんらくえん通信

編集：下野三楽園編集委員会

第3号

下野三楽園秋の恒例参加行事

私たちも地域の一員！「篠井秋祭り」

篠井地区秋祭りが、十一月三日（祝）篠井地区市民センターで開催されました。当日は、途中みぞれも降るあいにくの天候でしたが、豚汁や焼き肉、米やリンゴの無料配布もあり、多くの人で賑わいました。

◆◆◆◆◆
下野三楽園は、今年も地域交流コーナーを設けました。内容は三つで、輪投げゲーム、手作り工作、チョコバナナです。

輪投げは、入った数により豪華？な賞品をプレゼントしました。小さい子からおじいちゃん、おばあちゃんまで、真剣に且つ楽しく参加していただき交流がもてました。輪が入った時の「ワァー」という歓声でも賑やかでした。（内山）

カワイーっ!!



クリスマスをテーマに木の実工作を行いました。丸いどんぐりに顔を描き、赤いモールの帽子を被せてサンタさんの完成です。作り手の数だけ異なるユニークなサンタさんがたくさん生まれました。（相澤）

大好評！チョコバナナ



作り続けて15年!! もはやチョコバナナのプロ?!

平成六年度から三楽園として秋祭りに参加するようになってから十五年。その時からチョコバナナを作り続けています。毎年大好評で、園児達も大好きでこの時をとっても楽しみにしています。

400本分のチョコバナナを立ちっばなして作り続けること四時間、園児も手伝ってくれるので助かります。中には、何本も食べる子もいてお腹をこわさないか心配になりつつ、好きな物はいくらでも入ってしまうお腹にビックリします。延々と同じ動作をしたせいか、翌々日、左脇下に筋肉痛を感じた私でした（笑）。（池田）

心

園長 田村匡彦

「心」と刻まれた石碑があります。豊道春海（ぶんだうしゅんかい）の筆に依る高さ7メートル余という大きなもので、日光山輪王寺の三仏堂に向かって左手の場所に建っています。碑を見上げながら、心とは一体何だろうと思いをめぐらせます。

心の深いところに大きな傷を持つ子ども達と

共に暮らす日々は「自分なんか」と自己否定と思える姿を見ることが少なくありません。そのような時、その子にどんな励ましが必要なのか、どんな言葉や態度が心ある対応といえるだろうかと自問自答します。「心」、それは「祈り」に通じるものがあるのではないかと感じています。

下野三楽園は今、主体的な努力と祈りを込めて、全面的な建て替えを行おうとしています。

『お世話になりました。』

下野三楽園には地域内外から多くの方々が関わり、私たちを支えて下さっています。今回は、その中から、この秋に開催された行事をご紹介します。



那須サファリパーク

十月十日、『あっぴる国際交流会』さんのご招待で、園児十一名が那須サファリパークへ行きました。



『あっぴる国際交流会』は、毎月の絵本の読み聞かせの他、卒業・入学時のお祝いや工作教室、園外交流や焼き芋大会、冬にはクリスマスのお楽しみ会やマジックショーなど、一年を通じて多岐にわたり園と深い関わりを持ち続けていただいています。(高橋)

10月10日に、私はなすサファリパークに行ってきました。あっぴる会さんたちと行き、とっても楽しい一日になりました。そして私が一番楽しかったことが、動物とふれあうことです。うさぎににんじんをあげた時、食べてくれたのでうれしかったです。でも、つかまえようとした時、うさぎがこわくてにげてしまいました。すこし、残念でした。でも、かわいかったです。

そして、お昼の焼き肉もすごくおいしかったです。でも、ぶたの方を食べすぎて、牛の方を食べられませんでした。でも、おいしかったです。そして、最後にあっぴる会さんからお菓子をもらいました。とてもおいしかったです。そしてあっぴる会さんにお礼を言い、帰りました。楽しかったです。「また、行きたいなあ」と思いました。 小5 N・M



「けん玉は、むずかしかったけど、楽しかった。」 絵:6才 K・O

『ひまわり会』は、篠井地区在住の18名で構成されるボランティア団体で、三楽園には幼児交流で訪問してもらっています。その他に、地域を明るくしようという目的で、地域の清掃活動や花の植栽等の活動を行っています。(石川直)

おじいちゃん達と一緒に楽しみ

『ひまわり会』という地域の方々の手作りのおもちゃをたくさんもって園に遊びに来て下さいました。廃材を利用したコマやけん玉に子ども達は興味津々。目を輝かせて喜んでいました。一人で五、六人のおじいちゃん、おばあちゃんを独り占め。遊び方を教わり、素材のぬくもりを感じながら思い切り遊ぶことができました。

無邪気に遊ぶ子ども達を見て「かわいい」と目を細めてニコニコ笑っているひまわり会の皆さんの姿が印象的でした。人の優しさ、ぬくもりを感じた一日となりました。(神山)



綱引き競技では、三楽園職員も必死です。積年の夢「一勝」は叶わずあつけな敗退。ム、ム、無念!

一丸となつて頑張りました!

篠井地区体育祭9月6日

下野三楽園のある篠井地区では、年に一度9月に地区内自治会による体育祭があります。篠井地区には、十八自治会があり、三楽園も一つの自治会として、地区に生活する人間の一人として、子ども達や職員を含め、今年も様々な種目に参加しました。

子ども達のできる種目には、運動の得意な子が積極的に参加し、皆から激励されています。日頃から運動不足気味の職員や、運動が苦手だが子ども達の目前で恥をかきたくない一心で頑張る職員、かたやお猿さんのように動き回る職員など、日頃ではなかなか見ることが出来た一日でした。成績は、というところ……私たちが頑張りました!!。(石川忠)

元気に育てと願いを込め『七五三祝』

十一月十四日、三名の子どもが七五三に参加しました。初めての着物や袴にちよっぴり緊張した様子でしたが、段々と変わっていく自分の姿を見て嬉しそうでした。みんなから「可愛い」「カッコイイ」と言われ、笑顔で出発。出かける時に降っていた雨も神社に着く頃にはすっかりやんだので、お日さまも三人をお祝いしてくれたように感じました。この日一日を通して、子どもたちの沢山の笑顔をみる事ができました。(福田)



毎年、七五三の貸衣装の提供及び着付けのボランティアをして下さるのが、『宇都宮マロニエライオンズクラブ』の方です。プロの着付けで、子ども達も紳士・淑女に変身です。



今日だけは、お化粧もします。



「ほくちって、かこいいぞよ
いつもやんちゃな君だけど
羽織袴姿は、なんてリリシイ。

みんな真剣です！ 『避難訓練』



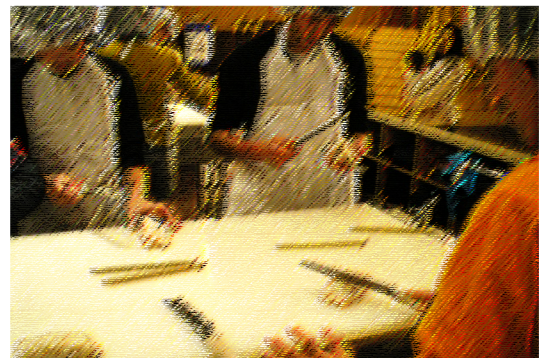
十一月七日、宇都宮市西消防署・富屋分署員7名立ち会いのもと、職員・児童三十四名が参加し、避難訓練を実施しました。その後、園駐車場に仮設濃煙体験コーナーを設けていただき、グループごとに煙道に入り煙の恐ろしさを体験しました。全員が真剣に訓練に参加し、貴重な体験が出来たと思います。最後にみんなの大好きな消防車・救急車の展示説明もしていただきました。消防署員の方々が優しく子ども達に接していただいた姿も印象的でした。(高橋)

歯科技工士会主催「ボーリング大会」

九月十九日、今年も社団法人栃木県歯科技工士会による招待行事がありました。いつものバーベキュー大会からボーリング大会に変わり、小学4年生から6年生までの十三名が御世話になりました。

ボーリングは初めての子も、ストライクを目指して思い切り投げる姿が印象的でした。そして、ピンがたくさん倒れた時笑顔がはじけて、周りのみんなも大喜びしていました。その後、会食会にて皆で交流しながらおいしい昼食をいただきました。また、歯科衛生士さんによる歯磨き指導を受け、衛生習慣の大切さを知り、とても貴重な一日となりました。(内山)

社会に向けての第一歩 … 自立促進事業 2



かまぼこ包丁を使って、板に乗せて作る「板かまぼこ」は、職人さんのようにいかず、思ったより難しい。初めての体験に、皆、熱中しています！

かまぼこ体験と野球観戦

年長児を対象に自立性を高めることを主目的とした『施設入所児等社会復帰促進事業』を毎年行っています。今回は中学生男子が十一月二十一日から一泊で神奈川県と東京都を中心に活動をしました。

一日目は宇都宮から神奈川県小田原市まで電車を利用して『鈴廣』という有名な蒲鉾店に行きました。体験作業として、魚のすり身をかまぼこ包丁で板に乗せ、板蒲鉾を作りました。形よく乗せられないながらも、各々に個性的な型の蒲鉾が出来ました。

二日目は、東京ドームにて初開催のプロと大学生の野球観戦に行きました。緊張感のある素晴らしい試合を目の前で見ることができ、子ども達は興奮した様子でした。普段では体験することのできないことを体験した2日間だったと思います。(石川忠)

2・4居室一泊旅行

映画鑑賞～日光のペンション泊～スケート



年に一度の居室旅行。今年は2つの居室合同で、日光へ出かけました。



「つるつるして、ちょっぴり怖かった…」

絵: 小学2年 N・T



「みんなで一緒に泊って楽しかった。」

絵: 小学1年 K・S

楽しかった一泊旅行 中1 M・I

私は、一泊旅行に行ってよかったと思ったことがたくさんあります。最初は違う居室と一緒に旅行は不安だったけど、皆が笑顔で迎えてくれたので嬉しかったです。

最初は映画に行って、「僕の初恋を君に捧ぐ」を見ました。とても感動しました。泣いている子もいました。夜はペンションの露天の宝石風呂にはいりました。きらきらしていてきれいでした。

二日目はスケートをしました。妹が私の巻いているマフラーを引っ張り、苦しかったです。風邪気味だったけど、広いリンクを3周もしました。とても楽しい思い出ができた一泊旅行でした。

しのい奇譚

宝の山は、篠井にあり！

毎年初夏、三楽園恒例ハイキングと称して全児童・職員が参加し、園東側に位置する「榛名山」に登ります。2時間強もあれば山頂に達する小さな山ですが、近世の頃この山の麓一帯では金が産出し、「篠井金山」と呼ばれていました。今から数百万年前、篠井地区は海底にあり、火山が激しく噴火していた場所であり、それにもなう熱水と岩石が接触、年月をかけて金が生成されたと考えられています。

この金山、鉱脈がすべて枯れてなくなったわけではなく、採算面で立ちゆかなくなった為に閉山したと聞いています。金の価格は毎日変動します。近い将来「篠井金山」が復活する可能性もあるわけです。「宝の山」の夢はハイキングと共に続きます。(西宮)



信仰

日光山輪王寺 鈴木常元

ほとけ様の前で手を合わせ、何を祈りましたか？「あれがほしい」「こうなりたい」と要求ばかりではありませんか？ほとけ様を信じれば、祈れば、願いが叶うと思っただけではありませんか？そして叶わなかったときに、文句を言ったり、誰かのせいにしていませんか？
ほとけ様に祈る時、ご利益を期待しては絶対にいけません。仏教は、人間の勝手な願いを叶えるための道具では決してありません。
ほとけ様を祈るといふことは、ほとけ様に全てをお任せするということ。お任せするということは、その結果も黙って受け入れるということ。たとえどんなに残酷な結果だったとしても、それを受け入れる心の力。それが信仰というものです。

ご支援のお願い

下野三楽園では、平成22年度に老朽化、耐震化対策の為、全面的な改築を行うこととしています。児童処遇の見直しや改善の他、児童による地域社会への奉仕活動にも取り組んでまいります。

一方で、子ども達の学習指導、交流、そして環境美化等さまざまなボランティアの協力を求めています。皆様のご協力やお知り合いの方々のご紹介等いただけましたら幸いです。

※本園へのご寄付は確定申告で「寄付控除」が受けられます



三楽園にまた新たな年が巡ってきます。子ども達が未来へと生きる強い力を育めますように、そして「幸」というあたたかな光が降り注ぎますように、と願いを込めて…(Y)
Merry X'mas & Happy New Year!



発行元: 社会福祉法人 下野三楽園 発行責任者: 田村匡彦

〒321-2105 栃木県宇都宮市下小池町 194 番地
Tel: 028-669-2131 Fax: 028-669-2241
E-mail: shimotsuke-sanrakuen@nifty.com